学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

令和５年度シラバス　（福祉）

教科（科目）	社会福祉基礎（福祉）	単位数	２単位	学年（コース）	生活福祉系列 自由選択２年次
使用教科書	実教出版社『社会福祉基礎』				
副教材等	実教出版『社会福祉基礎　学習ノート』				

１　学習目標

１　社会福祉の理念と意義を理解し、社会構造やライフスタイルの変化をふまえた新しい福祉社会を実践する態度を育成する。
２　社会福祉の歴史を理解し、現代社会における社会福祉の意義や役割を考える力を身に付ける。
３　対人援助の技術や多様な社会的支援について理解し、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決する力を身に付ける。

２　指導の重点

１　社会の中の福祉について、興味関心を持つこと。
２　社会福祉の意義や役割について、興味関心を持つこと。
３　福祉国家を形成する一員としての自覚をもつこと。

３　評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会福祉の実践において必要な知識について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	社会福祉の展開に関する諸問題を発見し、支援者としての倫理観をふまえて、合理的かつ創造的に解決をする力を身に付けている。	健全で持続的な社会をめざして自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

４　評価の基準と評価方法

	知識・技能　a	思考・判断・表現　b	主体的に学習に取り組む態度　c
評価の観点	社会福祉の実践において必要な知識について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	社会福祉の展開に関する諸問題を発見し、支援者としての倫理観をふまえて、合理的かつ創造的に解決をする力を身に付けている。	健全で持続的な社会をめざして自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	定期考査、プレゼンテーション、提出物、授業中の取り組み、などから評価します。		

５　学習計画

学期		単元名	時数	学習活動	評価の観点	評価方法
前期	中間Ⅱ	第１編　社会福祉の理念と意義 第１章　生活と福祉 第２章　社会福祉の理念 第３章　人間の尊厳と新たな福祉社会の創造	２３	・定期考査 ・課題の提出 ・課題への取組み	a b b c c	・定期考査 ・ワークシート ・活動の取り組み
	期末	第２編　社会福祉の歴史と時代の展望 第１章　諸外国における社会福祉 第２章　日本における社会福祉 第３編　生活を支える社会福祉・社会保障制度 第１章　社会保障制度の意義と役割 第２章　子ども家庭福祉	１２	・定期考査 ・課題の提出 ・課題への取組み	a b b c c	・定期考査 ・ワークシート ・活動の取り組み
後期	中間	第３章　障害者福祉 第４章　高齢者福祉と介護保険制度	１８	・定期考査 ・課題の提出 ・課題への取組み	a b b c c	・定期考査 ・ワークシート ・活動の取り組み
	末期	第５章　生活支援のための公的扶助 第６章　国民の生活を支える社会保険制度	１７	・定期考査 ・課題の提出	a b b c	・定期考査 ・ワークシート

		第４編　人間関係とコミュニケーション 第１章　コミュニケーションの意義と役割 第２章　支援における人間関係の形成 第３章　社会福祉のおける支援活動の概要 第５編　地域福祉の進展と多様な社会的支援制度 第１章　多様な社会的支援制度 第２章　地域福祉の進展と地域の将来		・課題へのお取組み	と	・活動の取り組み

計７０時間（５０分授業）

６　課題・提出物等

・定期的にワークシートと学習ノートの提出。
・授業中に視聴した映像等に関連する課題の提出。

７　担当者からの一言

みなさんの想像する福祉は、障害のある人や高齢者に対して、介護などの直接支援を行うイメージのほうが強いのではないでしょうか。この科目では「社会の中の福祉」について学びます。福祉とは「幸せ」と意味です。障害のある人や高齢者だけではなく、全ての人が幸せになるような社会のあり方について、一緒に考え、学びましょう。

学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

令和５年度シラバス　（福祉）

教科（科目）	介護福祉基礎（福祉）	単位数	２単位	学年（コース）	生活福祉系列 ２年次
使用教科書	実教出版社『介護福祉基礎』				
副教材等					

１　学習目標

１　介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など介護を行う上での基本的な考え方を習得させる。
２　介護の現代的意義や役割について考えさせ、介護をとりまく状況や介護福祉サービスの確立やさまざまな社会的対応について理解させる。
３　介護を必要とする人に対して自立支援の観点にもとづき、自己実現が達成されるよう適切な介護福祉サービスを提供できる能力と態度を育成する。

２　指導の重点

１　介護を必要とする人の尊厳の保持、自立支援などの考え方を習得する。
２　介護技術を身につける。
３　介護を必要とする人とその生活について理解する。
４　介護を必要とする人が利用する介護福祉サービスについて理解する。

３　評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
介護に必要な知識や意義、役割について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身につけている。	介護に関する諸問題を発見し、介護者としての倫理観をふまえて、合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。	よりよい介護を目指して自ら学び、適切な介護の実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。

４　評価の基準と評価方法

	知識・技能　a	思考・判断・表現　b	主体的に学習に取り組む態度　c
評価の観点	介護に必要な知識や意義、役割について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身につけている。	介護に関する諸問題を発見し、介護者としての倫理観をふまえて、合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。	よりよい介護を目指して自ら学び、適切な介護の実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。
評価方法	定期考査（筆記・実技）、提出物、授業中の取り組み、などから評価します。		

５　学習計画

学期		単元名	時数	学習活動	評価の観点	評価方法
前期	期末	第１編　介護の意義と役割 第１章　尊厳を支える介護 第２章　自立に向けた支援 第２編　介護福祉の担い手 第１章　介護従事者をとりまく状況 第２章　介護従事者の役割と介護福祉士 第３章　介護従事者の倫理 第４章　介護実践における連携 第３編　介護を必要とする人の理解と支援 第４章　介護を必要とする人の生活を支える支援	３５	・定期考査（実技・筆記） ・介護実技 ・課題への取組み	ａｂ ｂｃ ｃ	・定期考査（実技・筆記） ・ワークシート ・活動の取り組み ・課題

後期	期末	第３編　介護を必要とする人の理解と支援 第１章　介護を必要とする人と生活環境 第２章　高齢者の生活と支援 第３章　障害者の生活と支援 第５章　介護福祉サービスの概要 第６章　介護過程 第４編　介護における安全確保と危機管理 第１章　介護における安全と事故対策 第２章　介護従事者の健康管理 第３章　感染対策 第４章　福祉用具と介護ロボット	３５	・定期考査 ・課題の提出 ・課題への取組み	ａｂ ｂｃ ｃ	・定期考査 ・ワークシート ・活動の取り組み

計７０時間（５０分授業）

６　課題・提出物等

・定期的なワークシートの提出。
・授業中に視聴した映像等に関連する課題の提出。

７　担当者からの一言

この科目で学ぶことは大きく分けて以下の４つです。
１　介護を必要とする人の尊厳の保持、自立支援などの考え方を習得する。
２　介護技術を身につける。（ベッドメイキング、移動の介護など）
３　介護を必要とする人とその生活について理解する。
４　介護を必要とする人が利用する介護福祉サービスについて理解する。
実技の授業も行いますが、単なる技術だけではなく、介護を必要とする人への接し方、背景、障害、生活などを踏まえた介護をイメージできるようになりましょう。

学番６３　新潟県立柏崎総合高等学校

令和５年度シラバス（　福祉　）

教科(科目)	福祉(介護福祉基礎)	単位数	２単位	学科(コース)	３年次（生活・福祉系列)
使用教科書	介護福祉基礎（実教出版）				
副教材等	学習ノート				

１　学習目標

介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援などの介護の意義と役割を理解させ、介護を適切に行う能力と態度を育てる。

２　指導の重点

高齢者や障害者の自立生活の重要性を考え、自立を意識した介護方法・援助方法について学ぶ。

３　学習計画

学期	区	単元(主要学習領域)	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
前期	中間Ⅰ	介護を必要とする人の理解と介護	高齢者の生活と介護 ・生活を支える介護	２２	授業への取り組み 学習プリント
	中間Ⅱ	介護を必要とする人の理解と介護 介護サービスの概要	高齢者の生活と介護 ・生活を支える介護 介護サービスの概要 介護における連携	２４	授業への取り組み 学習プリント 定期考査
	期末	介護福祉の担い手	介護従事者ととりまく状況 介護従事者の役割	２４	授業への取り組み 学習プリント 定期考査
後期	中間	介護を必要とする人の理解と介護	障害者の生活と支援	５０	授業への取り組み 学習プリント
	期末	介護における安全確保と危機管理	介護における安全確保と事故対策 感染対策 介護従事者の健康管理	２０	授業への取り組み 学習プリント 定期考査

計１４０時間（５０分授業）

４　課題・提出物等

学習プリント

５　評価規準と評価の観点（評価は次の観点から行います。）

①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
よりよい介護をめざして意欲的に取り組むことができる。	介護活動の現状について適切に判断できる。	基礎的な介護技術を身に付け、その成果を表現できる。	介護の基礎的な知識を身に付け、その意義を理解している。

６　担当者からの一言

介護をする立場と同時に介護される立場を経験することで、よりよい介護のあり方について理解を深めることができます。相手の立場に立つこと・相手を尊重することを体験を通して考えていきます。　（担当：原）